

ICTを活用した効率的な授業技術の共通理解と人材育成

○自校の授業技術に関する動画を撮影し、年度始めの校内研修で共通理解を図る

- ・異動して間もない教職員だけでなく、若手教員のスキルアップの大きなヒントとなっている。
- ・取り入れたい授業技術ごとにコンパクトに編集することで、短時間に効率よく学ぶことができる。

具体的な取組： ICT（授業動画）を活用した校内研修の実施

《授業のはじめ》 30秒×3名

- ・授業の「はじめ」と「おわり」
- ・意識の切り替え



《特別な教育的支援を必要とする子どもとの かかわり》

60秒×1名

- ・子どもの困りに応じた対応
- ・状況に応じた子どもとのかかわり



《注意の仕方とほめ言葉》 40秒×2名

- ・その瞬間をとらえた適切な子どもへの声かけ



《黒板はみんなの考えが集まる場》

55秒×1名

- ・協働的な学びの場づくり



《机間支援、個に応じた支援》 45秒×3名

- ・座席表の活用
- ⇒子どもの事実の記録方法
- ・一人ひとりに応じた声かけ



動画視聴後の感想や振り返り

- 学習規律を定着させるための声かけ、視線、ポイントが動画を見てつかめるので、若い先生の授業技術の向上につながった。
- 学級担任をしていると他の先生の指導を見ることは難しいが、動画を通して学ぶことができるので、わかりやすく、見直すこともできるので、とてもありがたい。
- 若手の教員にとって、特別ではなく日頃から取り入れたい指導や学級経営の在り方を学べる機会となり、すぐに真似できるものばかりだった。
- 自分の引き出しを増やせた良い機会となった。